

予報期間 10月30日から11月5日まで

◆今期間のポイント

＜主要しょう乱の概要＞

- 11月1日は、低気圧が発達しながら北日本付近を北東へ進む。
- 2日は、低気圧がさらに発達しながらカムチャツカ半島付近へ進む。大陸の高気圧が黄海付近へ移動して、日本付近は西高東低の気圧配置となる。
- 3日は、高気圧が本州付近へ移動する。
- 4日は、高気圧が日本のはるか東へ移動し、東シナ海付近に気圧の谷が進む。
- 5日は、気圧の谷が日本付近に進み、前線が東シナ海から本州の南岸にのびる。

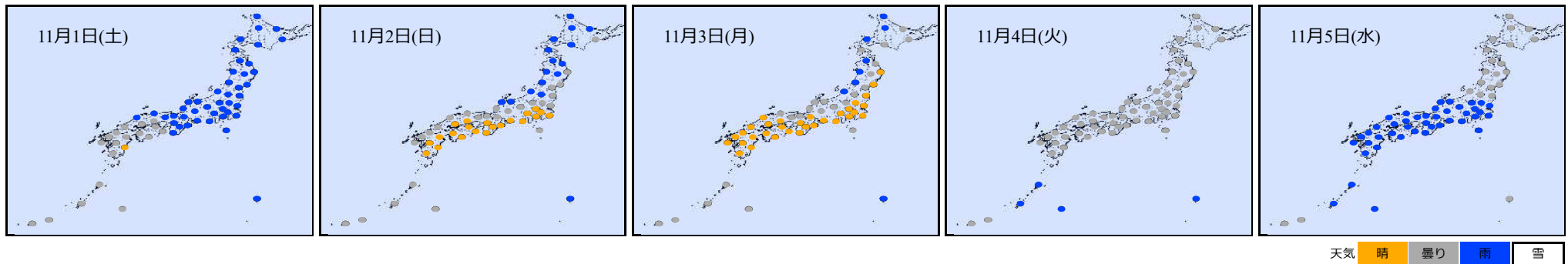
＜防災事項＞ 11時、17時発表の早期注意情報に合わせて当項目は修正する場合があります。

- 11月2日頃にかけては、低気圧が発達しながら北日本付近を北東へ進んでカムチャツカ半島付近へ進み、東日本では1日頃にかけて、北日本では2日頃にかけて大雨や大荒れとなる所があり、低気圧の発達の程度等によっては大しけ、警報級の大雨となるおそれがある。

※最新の早期注意情報、気象情報、台風予報も参照ください。

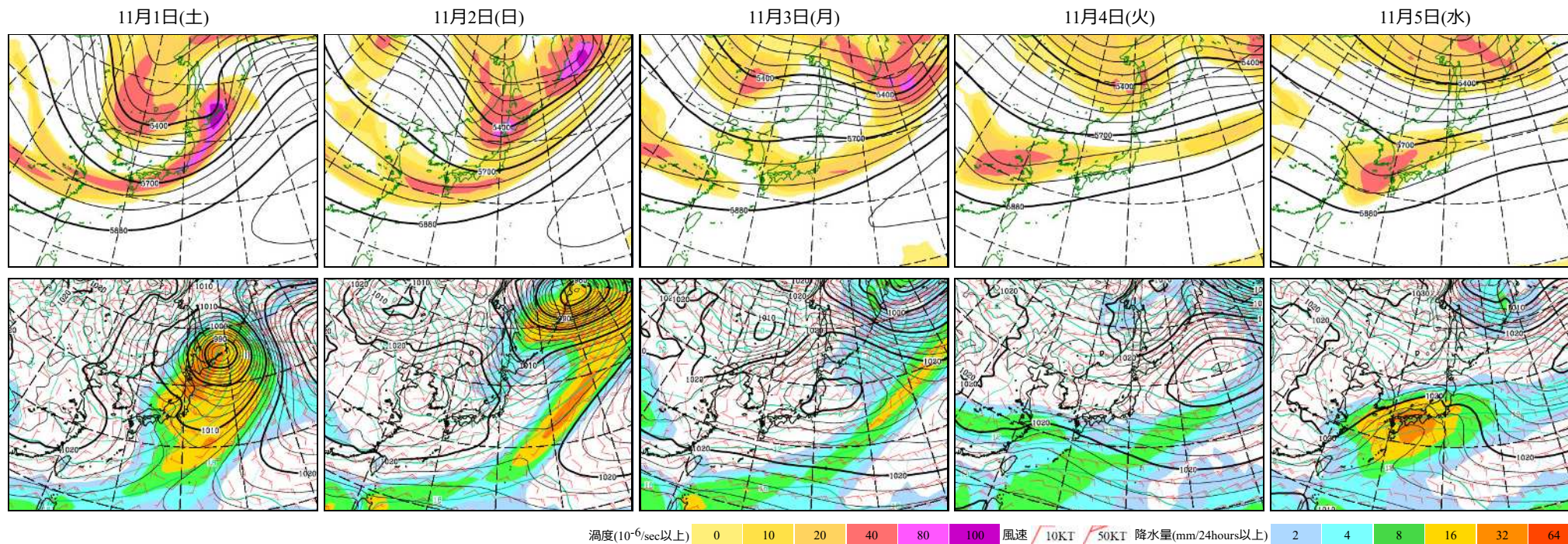
以下の資料は、気象事業者等が、気象庁の提供する週間天気予報の根拠を理解するための補助資料であり、そのままの形式で一般に提供することを想定して作成したものではありません。

◆10時時点の3～7日目の天気予報案 (11時以降は気象庁HP等にて発表予報をご利用ください。)

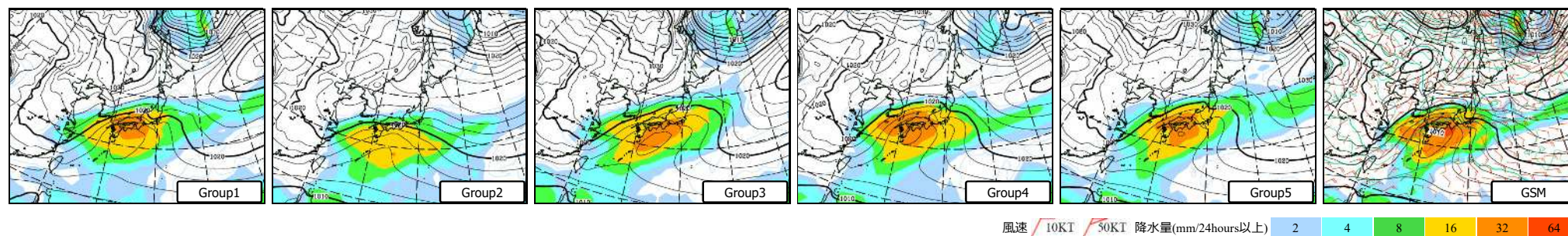


- 北日本と東日本日本海側は、曇りや雨または雪の降る日が多い。
- 東日本太平洋側と西日本は、晴れまたは曇りの日が多いが、11月1日と5日は雨の降る所がある。
- 沖縄・奄美は、雲が広がりやすく、11月4日から5日は雨の降る所がある。

◆アンサンブル(ENS)平均予想図 上図：500hPa高度線、渦度 下図：海面気圧、地上風、前24時間降水量(21時)



◆11月5日のENSクラスター平均(グループ1～5)とGSMの地上予想図 海面気圧、地上風(GSMのみ)、前24時間降水量(21時)



◆昨日資料からの変化と予想のばらつき

- 最新のアンサンブル資料(ENS)は、11月2日から4日にかけて本州付近を東へ移動する高気圧の進みが早くなった。5日は西日本付近に進む気圧の谷が明瞭となった。
- 11月2日までは、各モデルとも概ね揃っているが、3日以降はトラフ/リッジの進みや深さに違いが見られ、5日に日本付近に進む気圧の谷や低気圧の位置などにばらつきが見られる。
- スプレッドは比較的小さく、特定高度線のバラつきも小さい。

◆ENSからの修正点とサブシナリオ等の補足事項

- 予報は、おおむね最新のENSを基に考える。